

大野市保育園業務支援システム導入・運用業務公募型プロポーザル総評

令和5年9月29日

大野市保育園業務支援システム導入及び
運用業務受託者選定委員会
委員長 横田晃弘

去る令和5年8月29日に締め切った大野市保育園業務支援システム導入・運用業務公募型プロポーザルについて、選定委員会は二次に渡る審査を行い、下記のとおり決定しましたので、ここに公表します。

記

契約候補者

NTT ビジネスソリューションズ株式会社 福井ビジネス営業部

【 449点 / 500点 】

次点契約候補者

リコージャパン株式会社 デジタルサービス営業本部 福井支社 福井営業部

【 406点 / 500点 】

1 審査経過

今般、公立保育園の業務につきましては、利用者へ適切な保育を行うだけでなく、保護者とのやりとりや、記録、報告などの事務作業も多岐に渡っており、職員の負担は拡大しております。こういった現状を踏まえ、大野市は、保護者と施設双方の利便性の向上や、施設側の負担軽減による質の高い保育サービスの実現を図るため、公立3園において令和6年度より保育園業務支援システムが本格稼働できるよう、令和5年度中にシステムを導入し、運用を行うこととしました。

しかし、全国の保育の現場で利用されている業務支援システムは多岐に渡っており、そのそれぞれに特徴があるため、ひとつひとつを精査することは困難でした。

そこで、公立3園からシステムとして必要な機能や記録等を精査して要件とするだけでなく、事業者からの提案により本市公立保育園の現場に寄り添えるシステムを広く募ることができるよう公募型プロポーザルを実施することとしました。

8月8日に第1回大野市保育園業務支援システム導入・運用業務受託者選定委員会を開催し、プロポーザル実施要項等について協議、決定し、8月17日にプロポーザルの手続

きについて公告した結果2者から参加表明書の提出がありました。

8月30日に2者共に参加資格要件を満たしていることを確認し、企画提案書の提出を依頼しました結果、2者から企画提案書の提出がありました。

第一次審査として書類審査を行いました。提案者が3者以下であったため、2者ともプロポーザルにかかるプレゼンテーションへ参加となりました。9月15日に第二次審査として企画提案内容にかかるプレゼンテーションを受けた後、質疑応答を公開して行い、評価しました。

なお、審査は一貫して事業所名を匿名で行いました。

【経過詳細】

令和5年8月17日（木）	公告
24日（木）	質問受付期限
28日（月）	質問回答期限
29日（火）	参加表明書等の提出期限
30日（水）	参加資格要件の確認
30日（水）	企画提案書等提出依頼
9月7日（木）	企画提案書等の提出期限
15日（金）	企画提案書等の審査（プレゼンテーション）

2 審査講評

プレゼンテーションに参加された2者の提案内容は、2者共にいずれも機能性に富むシステムの説明だけでなく、システムの利用促進を目指したフォロー体制や情報セキュリティなど、充実した内容であり、全体の8割以上の点数がつけました。

その中でも、契約候補者の提案内容は機能面においての評価が高く、プレゼンテーションの質疑応答において、明瞭な回答だけでなく提案も行う積極性が、高く評価されました。

一方で、帳票の内容変更については、導入時以外、特に年度が切り替わる際の内容変更において、発注者側として労力や費用を極力抑えたいことから、委員から事業者へ協力を求める意見が出されました。

委員会で審査した結果、契約候補者を選定することに決定しましたが、契約候補者においては、今回のプロポーザルで提案した内容を本市公立保育園の現場で実際に十分活用できるシステムとなるよう、関係者と協議を重ねられることを求めます。

最後に、限られた準備期間にも関わらず、実現性の高い提案がなされましたことに、選定委員一同敬意を表し、感謝申し上げます。

3 選定委員名簿

役 職	選出団体・機関	役 職	氏 名
委員長	大野市教育委員会事務局	局 長	横田 晃弘
委 員	行政 I T 研究所 大野市 I C T アドバイザー	所 長	武城 文明
委 員	公立荒島保育園 (大野市立保育園保護者連合会選出)	保護者	奥村 有貴
委 員	公立あかね保育園	園 長	大久保 和代